

万が一の災害に備えて～災害対応訓練～

11月9日（土）に福井赤十字病院災害対応訓練を行いました。訓練は福井市で震度7の地震が発生し、3日間経過した想定で行われました。

他院からの重症患者の受け入れや当院で対応が困難な患者の転院搬送、ノロウイルスなどの感染症対策、職員への食料の配布など、災害発生からある程度時間が経過した後に起こりうる状況に対しての対応訓練となりました。

当院職員210名の他に日本赤十字社福井県支部、福井赤十字血液センター、福井市南消防署、武生看護専門学校などにも参加していただき、大規模な訓練となりました。今後は本訓練の問題点を検証し、実際の災害発生時においても速やかに対応できるよう体制強化に繋げていきます。



赤エリア(重傷者エリア)で
消防隊員と患者の状態を確認する職員



トリアージエリア(患者の重症度と緊急度をレベル分けするエリア)



設置された災害対策本部で対応する職員



時系列に災害情報を書き出す「クロノロジー」。
被害状況や患者の受け入れ状況など、あらゆる情報をまとめ、何をすべきか決定していきます。